

水道スマートメーターの利活用に関する取り組み

2026年 8月20日

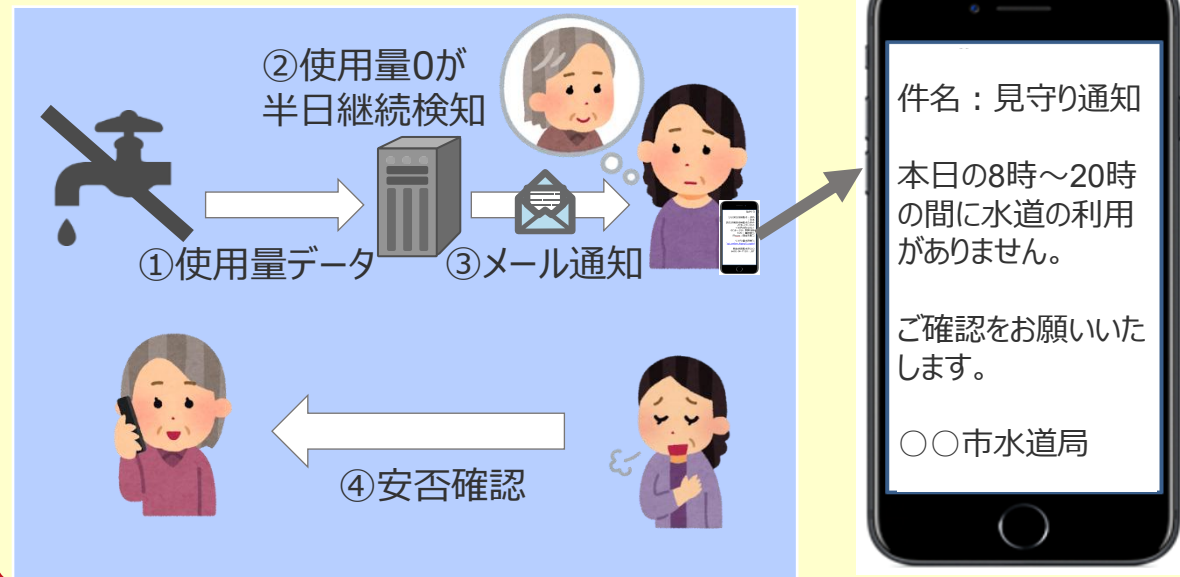
中部電力株式会社
中電テレメーティング合同会社

取組みの一例①「見守り実証の実施」

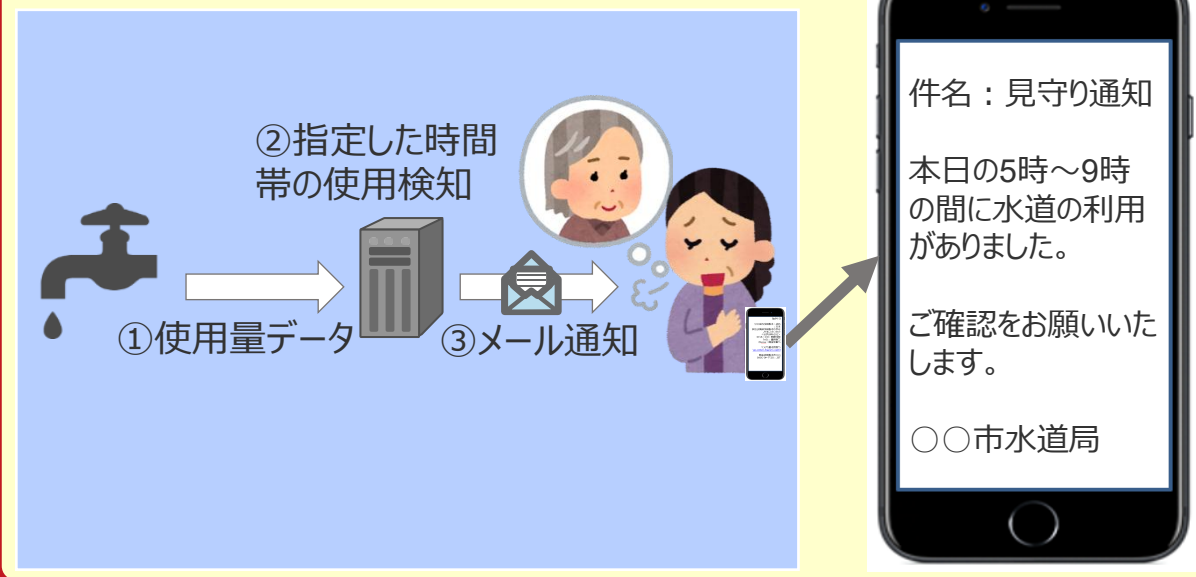
- 期間 : 2026年9月1日～2027年2月28日
- 実施箇所 : 半田市内の戸建て住宅および集合住宅約20件
- 目的 : 水道スマートメーターから取得した水道使用量データを活用した見守りサービスにおける有効性、有用性および運用の課題を検証する
- 内容 : 水道の1時間毎の使用量を確認し、一定時間使用がないなど、あらかじめ設定した条件を満たした場合に、ご家族や半田市へメールで通知し、異変の早期発見・対応に繋げる

【活用・画面イメージ】

＜不使用による異常検知＞



＜利用による生活の見守り＞



取組みの一例②「集合住宅における検針のDX化」



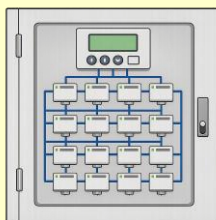
中部電力



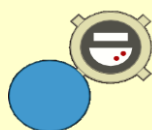
- 期間 : 2025年度以降～順次導入中
- 実施箇所 : 半田市内の集合住宅（各戸検針・各戸徴収を実施している住宅）
- 目的 : 集中検針盤の更新費用の削減、検針業務のDX化
- 内容 : 集中検針盤の更新時に水道スマートメーターを導入することで、集中検針盤が不要となり、高額な更新費用を削減

(現状)

集中検針盤



電子式 水道メーター



+

- ・定期的に集中検針盤、電子式水道メーターを更新
- ・検針員が現地訪問し、検針業務を実施

(大家・管理組合)



高額な更新費用が発生
(機器・工事費用)

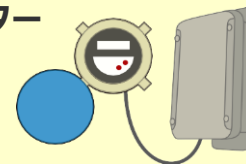
(水道事業者)



現地へ訪問し、集中検針盤を使用して
検針業務を実施

(導入後)

電子式 水道メーター



水道スマートメーター

通信端末

- ・定期的に水道スマートメーターのみの更新
- ・検針業務を自動検針により実施

(大家・管理組合)



高額な更新費用の削減
(水道スマートメーターのみ)

(水道事業者)



自動検針による検針業務の
負荷の軽減